

中学部第*学年 国語科学習指導案

日 時	平成*年*月*日 (*曜日) 5校時 13:20~14:10	場所	中学部*年*組
指 導 者			
単元名	文章から読み取って伝えよう		
単元設定の理由	<p>本グループは、男子*名、女子*名の計*名で構成されている。多様な障害があり、障害特性に応じた配慮が必要である。太田ステージの発達段階では、ステージⅣ—1と2の生徒が所属している。1学期に実施したアンケートでは、国語の学習について*名中*名が「楽しい」、*名が「まあまあ楽しい」と答えている。また、漢字の読み書きや文章を書くことに苦手意識をもつ生徒が半数以上を占めている。*名の国語に関する実態には大きな差が見られる。教科の観点の「聞く・話す」については、6文程度の長さのやり取りを聞いて、要点をメモに取って伝言ができる生徒から、部分的な要点についてだけは聞き取れる生徒までいる。「読む」については、教科書の6ページ程度の長さの物語を読んで主人公が何をしたのか、どんな順にやったのか、なぜそう思ったのかなどをほぼ一人で読み取れる生徒から、登場人物についてだけは自分で読み取れるという生徒まで様々である。「書く」については、書く内容を整理する際に支援をすれば自分で作文を書ける生徒から、何度も話を聞いて、思いを言葉にして下書きを一緒に書くことが必要な生徒までいる。</p> <p>このような実態をふまえ、特別支援学校学習指導要領に定められた国語科の内容(1)と(2)の「聞く・話す」、(3)の「読む」の観点から資料を読んで内容をつかみ、友達へ伝える学習を行う。特別支援学校学習指導要領解説総則等編 第4節 中学部の各教科 第1 国語 1 国語科の意義の中で「様々な情報の中から自分たちに必要な情報を適切に選択したり、必要に応じて、物を書いたりして、生活する力を高めるための能力と態度を育てる」とある。また、「生徒の身近な生活の中にある具体的な題材や、興味・関心、意欲を喚起する題材を用いて」とも書かれている。これらを受け、居住している市町村の出来事を紹介している広報誌を読み、内容の大まかな部分を理解し、友達に伝えることをねらい、本単元を設定した。</p> <p>指導にあたっては、長い文章を読むのが苦手、漢字を読むのが苦手など国語科の学習に対する生徒の困り感や苦手意識を軽減するためのツールとしてタブレット端末を用いる。タブレット端末の扱いに慣れる時間を設け、生徒がタブレット端末の「読み上げ機能」や漢字のアプリ等を広報誌の文章を読み取る際に活用できるようにしたい。また、選んだ記事について友達に伝える際にも写真などを見せながら話すのに、タブレット端末を活用できるようにしたい。</p>		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・記事を読んで内容の概要を読み取ることができる。 ・記事を読んで分かったことや思ったことを友達に伝えることができる。 ・友達の話のおおよその内容を聞き取ることができる。 		
指導計画 (6時間扱い)	<p>第1次 学習課題を知り、調べるためのツールの扱いに慣れよう・・・2時間</p> <p>第1時 学習課題を知り、学習計画を立てよう・・・1時間</p> <p>第2時 タブレット端末の操作を覚えよう・・・1時間</p> <p>第2次 市町村の広報誌を読んで伝えたい記事を選ぼう・・・1時間 <本時></p> <p>第3次 伝えたいことについてまとめ、発表練習をしよう・・・2時間</p> <p>第4次 友だちに自分の住んでいる市町村の出来事を伝えよう・・・1時間</p>		

【本時の指導】

1 全体目標 ※< >は関連する自立活動の項目

- 市町村の広報誌を読み、みんなに伝えたい記事を選ぶことができる。
(聞く・話す)【中国(3)】<6-(2)>
- 広報紙の内容を読み取ることができる。
(読む)【中国(3)】

2 生徒の実態及び個別目標等

※個別目標には、関連する自立活動の区分内容を番号で明記する。(例：<1-(1)>)

生徒	生徒の実態	個別目標	主な指導場面 評価方法
生徒1	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページ程度の簡単な物語を読み、主人公が何をどのような順番で行ったのかなど、基本的な内容を読み取ることができる。家庭でiPhoneを使っており、Web検索ができる。新しいことを覚えるのが難しく、前の時間の学習内容を忘れていくことが多い。漢字に苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない漢字や語句についてタブレット端末を活用して自分で調べることができる。<2-③> ・記事を読んでおおよその内容を理解し、紹介したい記事を選ぶことができる。また、選んだ理由を自分なりの言葉で説明することができる。<6-②> 	5 観察
生徒2	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページ程度の簡単な物語を読み、主人公が何をどのような順番で行ったのかなどをだいたい読み取ることができる。タブレット端末の操作では、新しいことも覚え、自分で活用できる。自分で考えて文章を書くのが苦手なため、長時間続けると不安定になることがある。間違えることを嫌うこともあり、なかなか決められないこともある。語彙が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない漢字や語句についてタブレット端末を活用して調べることができる。<2-③> ・記事を読んでおおよその内容を理解し、紹介したい記事を自分で選ぶことができる。また、選んだ理由を自分なりの言葉で説明することができる。<6-②> 	5 観察
生徒3	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページ程度の簡単な物語を読み、主人公が何をどのような順番で行ったか、なぜそのように思ったのかなどについてだいたい読み取ることができる。タブレット端末の操作では、新しいことも覚え、自分で活用できる。少し難しいと感じるとそこで諦めてしまうことがある。語彙が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない漢字や語句についてタブレット端末を活用して調べることができる。<2-③> ・記事を読んでおおよその内容を理解し、紹介したいものを選ぶことができる。また、選んだ理由を説明することができる。<6-②> 	5 観察
生徒4	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページ程度の簡単な物語を読み、主人公が何をどのような順番で行ったのかなどについて、だいたい読み取ることができる。タブレット端末の操作では、新しいことを覚えるのに時間がかかることがある。視力の問題で、プリントやタブレット端末にかなり目を近づけて見る必要がある。自分で考えて文章を考えられるが、余分な言葉や同じ言葉が繰り返し入ってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない漢字や語句についてタブレット端末を活用して調べることができる。<2-③> ・記事を読んでおおよその内容を理解し、紹介したいものを選ぶことができる。また、選んだ理由を説明することができる。<6-②> 	5 観察

生徒5	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページ程度の簡単な物語を読み、どのような登場人物がいるのかを読み取ることができる。タブレット端末に興味があり、新しいことも覚えて活用できる。自分一人で考えて文章で表現するのが苦手である。じっくりと課題に取り組むことが多い。漢字にとっても苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読めない漢字についてタブレット端末を活用して調べることができる。 〈2-③〉 ・記事の大まかな内容を読み取り、教師と相談して紹介したいものを選ぶことができる。〈6-②〉 	5 観察
生徒6	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページ程度の簡単な物語を読み、主人公が何をどのような順番でしたのか、なぜそう思ったのかなどを読み取ることができる。タブレット端末の操作では、新しいことも覚えて自分で活用できる。友だちに注意を受けたり、友達に言われたことを思い出したりして不安定になると、落ち着くのに時間がかかる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない漢字や語句についてタブレット端末を活用して調べることができる。〈2-③〉 ・複数の記事を読んでおおよその内容を理解し、紹介したいものを選ぶことができる。また、選んだ理由を説明することができる。 〈6-②〉 	5 観察

3 展開 ※〈 〉は関連する自立活動の項目 ※形態の表記は 全体：全、グループ：グ、個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て ※評価は□で囲む
全 (1)	1 始めのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・机の向きと学習の準備物を確認してからあいさつをすることでスムーズに学習に入れるようにする。 ・カードで活動内容を確認し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。〈2-③〉 ・生徒の実態に合ったアプリを用意し、各自で学習を進められるようにする。文法については、指示語や接続詞についての問題をKEYNOTEで作成しておく。 <small>(使用アプリ：4年生の漢字検定7級 漢字検定試験対策合格!9級 はんぶく一般常識ことわざ など)</small> ・個別学習の内容や目標を個別に確認する。 ・終了時間をタイマーで設定し、集中して学習に取り組めるようにする。 ・がんばりカードを一緒に見て前回までの進み具合を確認したり、アプリの使い方を再確認したりする。(生徒1) ・学習がすぐにスタートできているかを確認する。苦手な漢字について書き順などの個別指導を行う。(生徒5) ・表情が変わっていないか、落ちついて学習に取り組んでいるかを確認し、必要に応じて気分転換などを取り入れるようにする。(生徒6) ・各生徒の学習の様子を確認しながら、補足説明をするなど個に応じた支援を行う。
個 (8)	3 個別学習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定に向けた学習 (生徒2)(生徒3)(生徒4)(生徒5) ・語彙の拡充のための学習 (生徒1) ・文法の理解を深めるための学習 (生徒6) 	
全 (5)	4 本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 市町村の広報誌を読み、みんなに伝えたい記事を選ぼう。 </div>	
		<ul style="list-style-type: none"> ・「読み上げ機能」や「電子国語辞典」などタブレット端末の使い方を確認し、前時に学習した内容を思い出せるようにする。〈2-③〉 ・黒板に書いた字の大きさで見えるかを確認する。(生徒4)

個 (30)	<p>5 自分の市町村の広報誌を読んで紹介したい記事を探す。</p> <p>(1)電子化された広報誌を読む。</p> <p>(2)分からない漢字や語句をタブレットで調べる。</p> <p>(3)ワークシートに伝えたい記事のタイトルを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に各市町村の広報誌は、電子化して「iBooks」に保存し、iPadの「スピーチ機能」をオンにしておくことですぐに「読み上げ機能」を使えるようにしておく。 ・タブレット端末の使い方について分からない場合にはお助けプリントを見たり、友達に聞いたりし、それでも分からない場合に教師に質問するように約束しておく。 ・机を動かして隣の人との間隔をあけ、音が気にならないようする。必要に応じてタブレット端末の音量を調整するように促す。〈2-①〉 ・広報誌にはたくさんの記事が載っているため、タイトルや写真を見て興味のあるものを探してから読むように伝える。 ・どの記事から読んだらよいか迷っている場合には、一緒に見ながら興味のもてそうな記事を探すようにする。 (生徒2)(生徒5) ・「読み上げ機能」やアプリが迷わずに使えているかを確認し、必要に応じてお助けプリントで確認したり、友達に聞いたりするように促す。(生徒1)(生徒3)(生徒4)(生徒5) ・「読み上げ機能」では、漢字の読み方の間違いがある場合もあるので、「振仮名アプリ」などで確認も必要になることを伝える。 ・伝えたい記事を決めた生徒には記事を選んだ理由を聞く。また記事の内容を確認し、必要に応じて再度読み直したり、語句を調べたりするように促す。 	
全 (5)		<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>(1)学習の振り返りをする。</p> <p>(2)次時の学習予定を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でワークシートの「よくできた」「できた」「もう少し」の3段階のイラストに○をつけることで自己評価をし、学習を振り返ることができるようにする。 ・次時は、今日選んだ記事を紹介するためにワークシートにまとめたり、発表練習をしたりすることを伝え、学習に見通しをもてるようにする。〈2-①〉
全 (1)	<p>7 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の広報誌を読み、伝えたい記事を選べたか。(観察・ワークシート) ・広報誌の内容を読みとることができたか。(観察) 	

【板書計画】

<p>三 ワークシートに紹介したい記事のタイトルを書く。</p>	<p>二 みんなに紹介したい記事を選ぶ。(なぜその記事を選んだのかの理由も言えるとすばらしい。)</p>	<p>※分からない漢字や言葉を調べる。</p>	<p>一 自分の住んでいる市町村の広報誌を読む。</p>	<p>市町村の広報誌を読み、みんなに伝えたい記事を選ぼう。</p>	<p>目標 「文章から読み取って伝えよう」</p>	<p>3 まとめ</p>	<p>2 今日の学習(文章から読み取って伝えよう)</p>	<p>1 個別学習</p>	<p>9/8 国語 学習の流れ</p>
----------------------------------	--	-------------------------	------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	--------------	-------------------------------	---------------	-------------------------

※補足資料 自立活動の内容

1 健康の保持

- (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。
- (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事。
- (3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事。
- (4) 健康状態の維持・改善に関する事。

2 心理的な安定

- (1) 情緒の安定に関する事。
- (2) 状況の理解と変化への対応に関する事。
- (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。

3 人間関係の形成

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。

4 環境の把握

- (1) 保有する感覚の活用に関する事。
- (2) 感覚や認知の特性への対応に関する事。
- (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関する事。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。

5 身体の動き

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。
- (4) 身体の移動能力に関する事。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
- (2) 言語の受容と表出に関する事。
- (3) 言語の形成と活用に関する事。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。